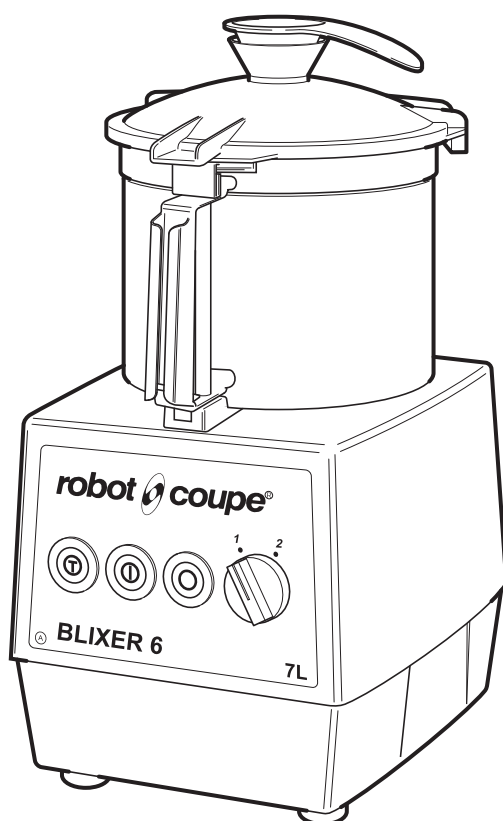


ブリクサー【ロボクーブ】
BLIXER-6（業務用）

robot coupe®

取扱説明書



このたびは、当社のブリクサー（BLIXER-6）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目 次



安全上のご注意	1 ～ 7
各部の名称	8
据付けについて	9
操作手順	10 ～ 15
ギザ刃カッター Assy の分解と組立て方法	16 ～ 19
ギザ刃カッター Assy の分解方法	16 ・ 17
ギザ刃カッター Assy の組立て方法	18 ・ 19
容器蓋、スクレーパーアーム Assy の分解と組立て方法	20 ～ 22
容器蓋、スクレーパーアーム Assy の分解方法	20
容器蓋、スクレーパーアーム Assy の組立て方法	21 ・ 22
お手入れ	23 ～ 26
故障の診断と手当	27 ・ 28
仕様	32
商品保証書	33

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アースとる

アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



電源コードや電源プラグが（電源プラグ使用の場合）破損している場合は使用しないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。

禁止



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は、停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機のスイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグを使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



接触禁止

ギザ刃カッター Assy の刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

誤ってギザ刃カッター Assy の刃に触れた場合、ケガの原因になります。



置場所

容器より取り外したギザ刃カッター Assy は、丈夫な台の上に置くこと

転倒させたり、落としたりした場合、ケガの原因になります。

⚠ 警告



挿入禁止

ギザ刃カッター Assy の回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってギザ刃カッター Assy の刃に触れた場合、ケガの原因になります。ギザ刃カッターの刃や箸、スプーンなどが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

ギザ刃カッター Assy の回転が完全に止まるまでは、容器蓋を取り外さないこと

誤ってギザ刃カッター Assy に触れた場合、ケガの原因になります。食材が飛び散り、周囲を汚す原因になります。



専用電源切

容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、電源プラグを抜くか（電源プラグを使用の場合）、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、ギザ刃カッター Assy が回転してケガをする恐れがあります。



専用電源切

容器の取り外しの際は、停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、ギザ刃カッター Assy が回転してケガをする恐れがあります。



カッター外す

容器内の食材の取り出しは、先にギザ刃カッター Assy を外してからおこなうこと

誤ってギザ刃カッター Assy の刃に触れた場合、ケガの原因になります。



使用禁止

カッター取外し固定具が破損して、ギザ刃カッター Assy を固定できなくなった場合は、使用しないこと

分解や組立ての際に、ギザ刃カッター Assy が固定できないと、刃に当たりケガの原因になります。カッター取外し固定具が破損している場合は、新しいカッター取外し固定具をご購入ください。



取付確認

容器蓋に、スクレーパーアーム Assy を取り付けた後は、スクレーパーアーム Assy が外れないことを確認すること

スクレーパーアーム Assy の取り付けが不十分の場合、調理中にスクレーパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。



禁止

モーター軸部に、付いているオイルシールは、傷を付けないこと

オイルシールを損傷しますと、容器から調理液や洗浄液が漏れた場合、モーター軸内へ流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警告



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、容器からの液漏れやショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

電気の配線に不備があると感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部で電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂の部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



容器固定

容器を本体に取り付けるときは、“カチッ”と止まるところまで回すこと

容器が本体に固定されていないと、調理中に容器が外れることがあり危険です。



指挟まない

容器蓋を取り付けるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグを使用の場合）すると、発火の原因になります。



専用電源切

お手入れや点検のときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF(切)』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、ギザ刃カッター Assyが回転してケガの原因になります。

漏電、ショート、感電の原因にもなります。



ネジ部洗浄

洗浄の際、カッターホルダーサポートとホルダーナットのネジ部は、きれいに洗浄すること

ネジ部に付着物があると、調理中にホルダーナットがゆるむことがあります。ホルダーナットがゆるんだ状態で、ギザ刃カッター Assyを持った際、部品が外れて落下による、ケガの原因になります。

⚠ 注 意



除菌洗浄

ギザ刃カッター Assy、容器、容器蓋、スクレーパーアーム Assy、蓋パッキン、モーター軸部などは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



漬け置き禁止

お手入れのときは、ギザ刃カッターを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにしておかないこと

泡でギザ刃カッター Assy の刃が見えなくなり、誤ってギザ刃カッター Assy の刃に触れると、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



入れ過ぎ禁止

ブレードケーシングの上端を超える量の液体物を入れないこと

モーター軸部より機械の内部に流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

ご使用後は、安全のため停止スイッチ「◎」(赤色)が「OFF」(切)になっていることを確認し、本機専用電源も『OFF(切)』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に 1 回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

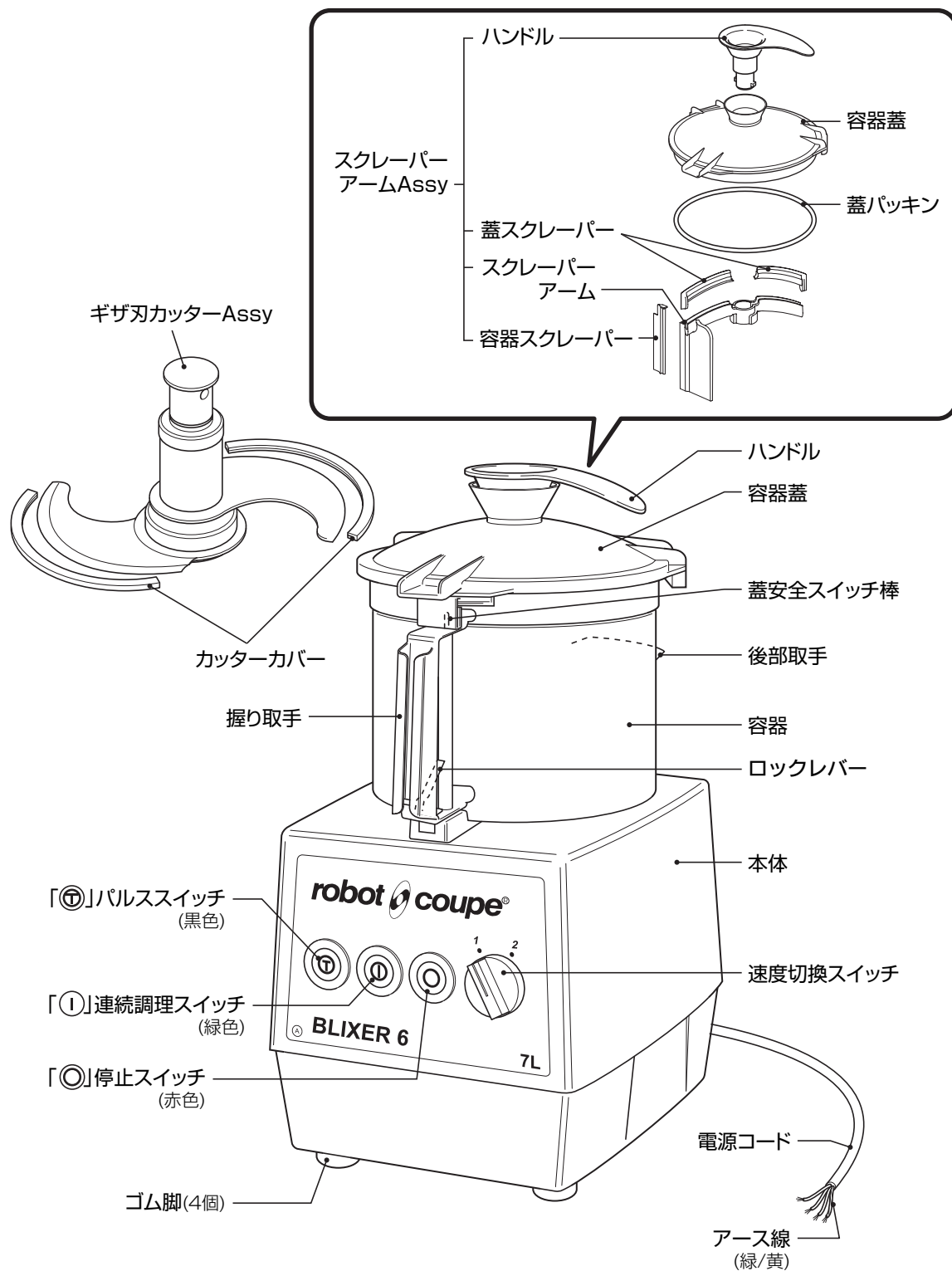


テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

本機は、食材を攪拌調理する機械です



据付けについて

⚠ 警告



湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと
本体や電源コードに水がかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。



据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

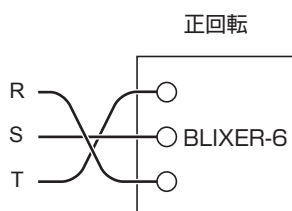
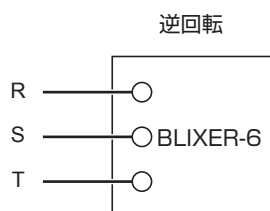
操作スイッチが正面にくるように据え付けてください

本機は、電源に電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：2.5 m、4 心

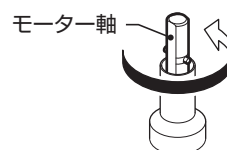
接続時には、モーター軸の回転方向が反時計方向になるように結線してください
逆回転になった場合は、下の図を参照のうえ、回転方向を変えてください。

回転方向変更の方法



正しい回転方向

(上から見て反時計方向)



電源コードのアース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

操作手順

1. 調理を始める前に、「お手入れ」(23 ページ) を参照して、容器、容器蓋、蓋パッキン、スクレーパーアーム Assy、ハンドル、ギザ刃カッター Assy をきれいに洗浄してください

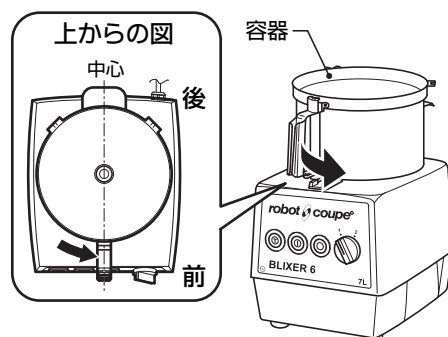
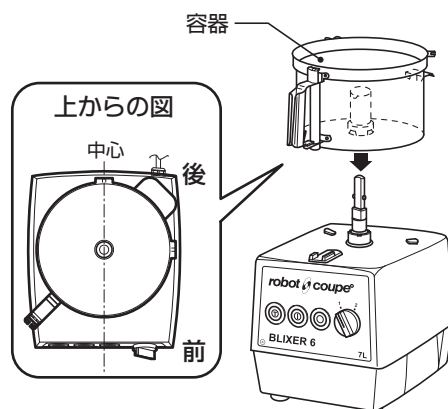
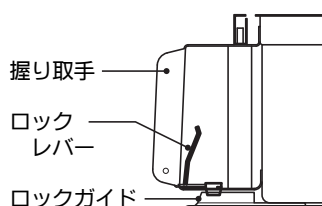
2. 容器を本体に取り付けてください

容器の握り取手のある方を手前にし、中心より約 45° 左に向けて、本体に取り付けてください。

容器の握り取手を持ち、反時計方向に“カチッ”と止まるところまで回してください。

ロックレバーがロックガイドにはまり込み、容器が本体に固定されます。

容器が本体に正しく固定されているか、握り取手を持ち、左右に少し動かして確認してください。



⚠ 注意



容器を本体に取り付けるときは、“カチッ”と止まるところまで回すこと
容器が本体に固定されていないと、調理中に容器が外れることがあり危険です。

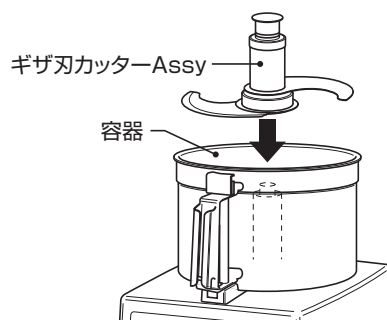
3. ギザ刃カッター Assy を取り付けてください

ギザ刃カッター Assy をモーター軸に差し込み、“コトン”と落ち込む位置まで左右いずれかに回してください。

⚠ 警告



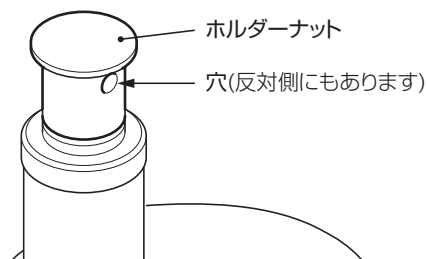
ギザ刃カッター Assyの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



お願い

繰り返し調理する場合は、ギザ刃カッター Assy のホルダーナットにあります穴（2箇所）に、食材が詰まっていないか確認してください。

穴が詰まっていると、調理中に食材がブレードケーシングから漏れる原因になります。



4. 調理する食材を容器内に入れてください

お願い

容器に食材を入れるときは、必ず先にギザ刃カッター Assy を取り付けてください。

先に食材を入れてしまいますと、ギザ刃カッター Assy が入らなくなることがあります。

調理する食材は、基本的に包丁で切ることができる堅さのものをご使用ください。

少し堅めの食材は、30mm 角程度までの大きさに切ってください。

1 回に調理できる量は、調理する食材により異なりますが、目安として容器の $1/3 \sim 2/3$ の範囲内の量を入れてください。

液体物を調理するときは、4 L 以内で調理してください。

4 L を超える量の液体物を入れますと、調理中に容器蓋部分から食材が漏れ出る恐れがあります。

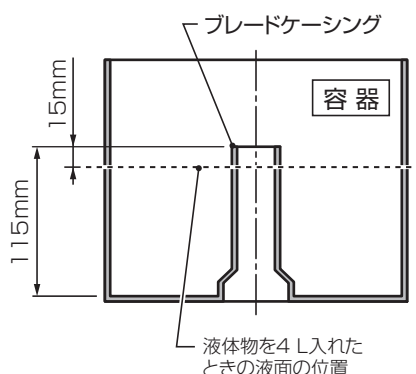
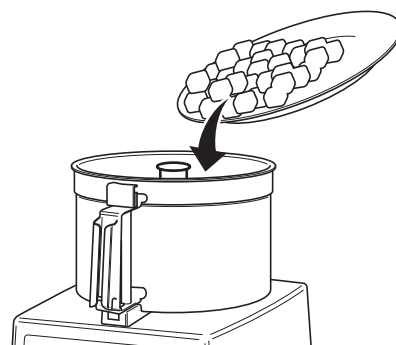
液体物を調理するときは、必ず低速の「1」でおこなってください。

高速の「2」で調理しますと、容器蓋部分から食材が漏れ出る恐れがあります。

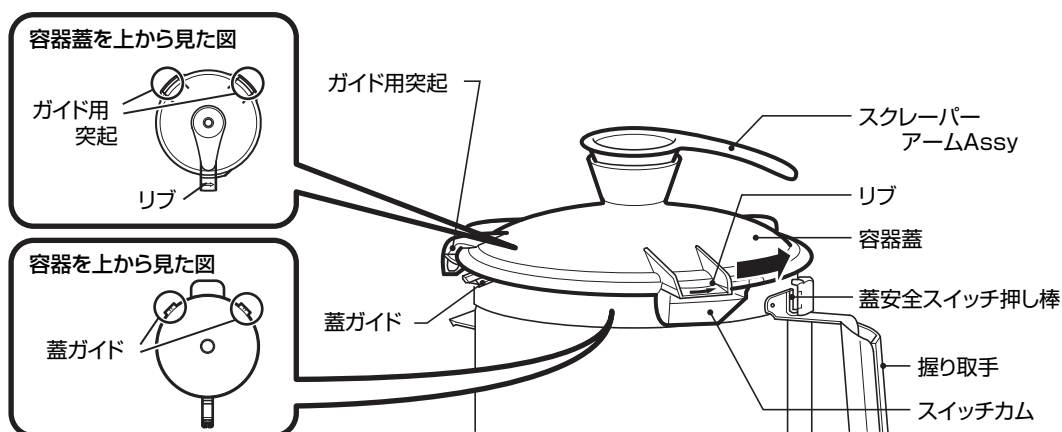
調理する食材は 80℃ 以下のものをご使用ください。

調理中に 80℃ を超える食材は調理しないでください。

容器蓋と蓋パッキン、ギザ刃カッター Assy の樹脂リングおよび、スクレーパーアーム Assy は、80℃ を超える食材を調理すると変形したり、変色する恐れがあります。



5. スクレーパーアーム Assy を付けた容器蓋を容器に取り付けてください



容器蓋のリブを手前にして、中心よりやや左に向くようにして容器に乗せてください。

容器蓋を軽く押さえながら、リブが握り取手の位置にくるまで、反時計方向にしっかり回してください。

容器蓋のスイッチカムが、蓋安全スイッチ押し棒を押し下げて締まり、調理可能状態になります。

同時に、容器の縁にある3箇所の蓋ガイド（前・右・左）が、蓋のガイド用突起にはまります。

※ 容器蓋が容器に正しくセットされていないと、調理スイッチを押しても機械は、調理をおこないません。

6. 本機専用電源を『ON（入）』にしてください

⚠ 警告

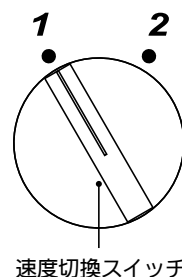


容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作スイッチに触れた場合、ギザ刃カッター Assyが回転してケガをする恐れがあります。

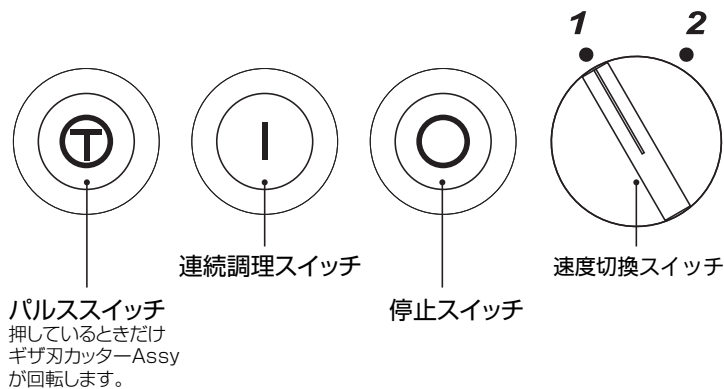
7. 速度切換スイッチを「1」にセットしてください

低速で調理するときは「1」にしてください。

高速で調理するときは一度「1」で調理を始めてから速度切換スイッチを「2」に回してください。



8. 操作スイッチを押して調理をしてください



操作スイッチ	動 作
パルススイッチ「㊤」(黒色)	押している間だけギザ刃カッター Assy が回転します。
連続調理スイッチ「①」(緑色)	ギザ刃カッター Assy が連続回転します。
停止スイッチ「②」(赤色)	ギザ刃カッター Assy の回転が止まります。

最初にパルススイッチ「㊤」(黒色) を数回押して食材を少し刻んでから連続調理スイッチ「①」(緑色) で調理をおこなってください。

ムラなく調理できます。

容器蓋は、透明になっていますので、調理の仕上がり状態を見ながら食材の量や調理時間の調整をおこなってください。

お願い

パルススイッチ「㊤」(黒)は、食材のキザミおよび調理はじめのかきまぜ攪拌に使用し、調理終了後には使用しないでください。

調理した食材は粘度が増しています。その状態でパルススイッチ「㊤」(黒)を使用すると、モーターに異常な負荷がかかり、漏電遮断機が「OFF(切)」になる原因になります。

調理中、異常音や振動が大きいときは、食材の量が多いことが考えられますので、食材の量を減らしてください。

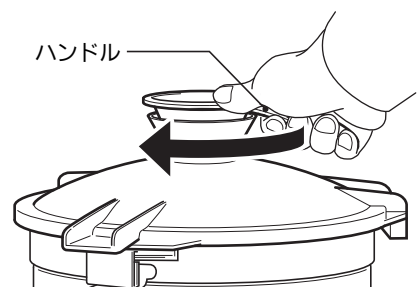
異音や振動が大きいまま調理を続けると、モーターの負荷が大きく、機械の故障の原因になります。

粘度の高い食材は、容器の1 / 3以下の量に抑えて、20秒以内に調理してください。

調理時間が長いと、故障の原因になります。

調理中、容器の内側面および蓋の内側に付着した食材は、蓋の上から状態を見ながら、スクレーパーアーム Assy のハンドルを時計方向にゆっくり回してかき落としてください。

調理後の取り出しの際も、かき落としてください。



お願い

スクレーパーアーム Assy のハンドルを回す場合は、必ず時計方向にゆっくり回してください。

逆に回したり、早く回したりすると容器スクレーパーが破損する原因になります。

ハンドル中央の開口部は、投入口になっています。

必要に応じて、追加食材や調味料を投入してください。

⚠ 警告



ギザ刃カッター Assyの回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと。誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。ギザ刃カッターの刃や箸、スプーンなどが破損した場合は、異物混入の原因になります。



9. 調理が終わりましたら、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、本機専用電源を『OFF (切)』にしてください

⚠ 警告



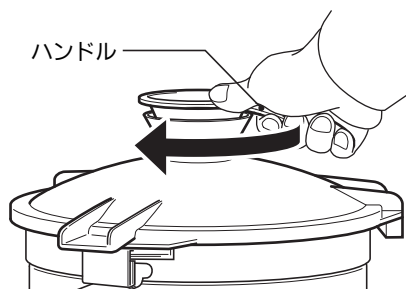
容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源を『OFF (切)』にすること。誤って操作スイッチに触れた場合、ギザ刃カッター Assyが回転してケガをする恐れがあります。

お願い

調理中および調理完了後に機械の運転を止めるときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤色)を押して止めてください。

運転中に容器蓋を開けて運転を止める使いかたをしますと、故障の原因になります。

10. 容器の内側面および蓋の内側に付着した食材は、スクレーパーアーム Assy のハンドルを時計方向にゆっくり回してかき落としてください



11. 容器蓋を取り外してください

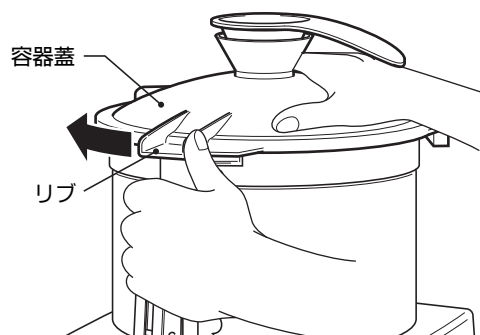
⚠ 警告



ギザ刃カッター Assyの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を取り外さないこと
誤ってギザ刃カッター Assyに触れた場合、ケガをする恐れがあります。
食材が飛び散り、周囲を汚す原因になります。

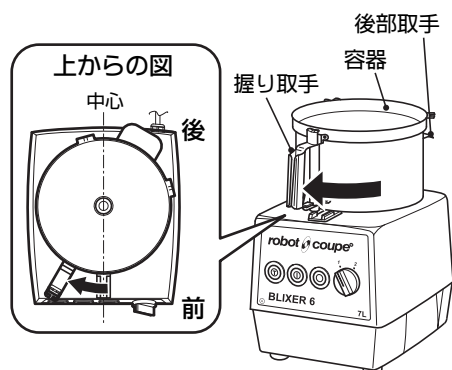
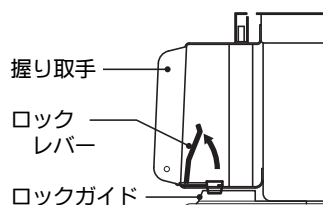
容器蓋は、時計方向に少し回りて取り外してください。

容器蓋がかたいくて動かない場合は、左手で容器の取手をつかんで、親指を容器蓋のリブにかけ、右手で容器蓋をつかんでください。左手の親指を押し出すようにして、右手を時計方向に回してください。



12. 容器を取り外してください

容器の握り取手のロックレバーを指で一緒に握り、ロックレバーがロックガイドから外れた状態にして、約 45° 時計方向に回してください。



ギザ刃カッター Assy を付けたまま容器の両方の取手（握り取手と後部取手）を持って、真っ直ぐ上に持ち上げ、本体より容器を取り外してください。

13. 容器からギザ刃カッター Assy を取り出し、食材を他の容器に取り出してください

⚠ 警告



容器内の食材の取り出しは、先にギザ刃カッター Assyを取り外してからおこなうこと
誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

ギザ刃カッター Assy の分解と組立て方法

ギザ刃カッター Assy の分解方法

⚠ 警告



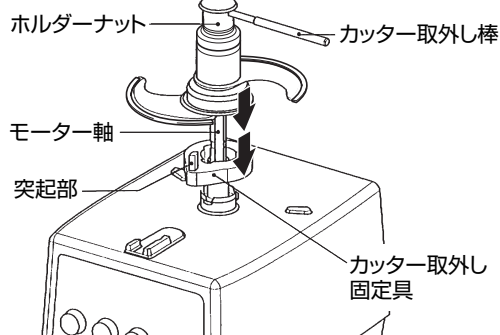
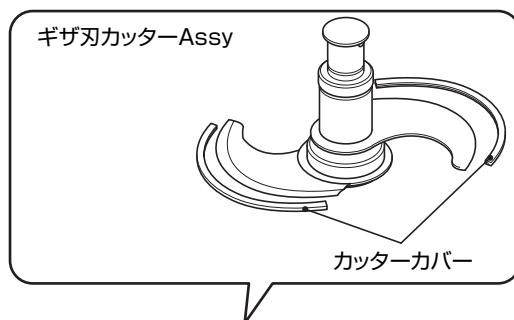
ギザ刃カッター Assyの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

1. 本機専用電源を必ず切ってください
2. 本体から容器を取り外してください
3. ギザ刃カッターの刃先に、カッターカバーを取り付けてください
4. 本体のモーター軸に、カッター取外し固定具（樹脂製）の形状を合わせてはめ込んでください

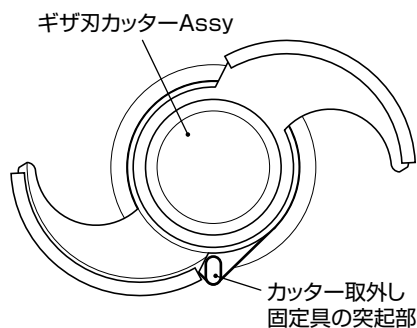
⚠ 警告



カッター取外し固定具が破損して、ギザ刃カッター Assyを固定できなくなった場合は、使用しないこと
分解や組立ての際に、ギザ刃カッター Assyが固定できないと、刃に当たりケガの原因になります。
カッター取外し固定具が破損している場合は、新しいカッター取外し固定具をご購入ください。



5. ギザ刃カッター Assy をモーター軸に差し込んでください
6. 下部のカッターが、カッター取外し固定具の突起部に当たるように向きを変えてください



7. ホルダーナットの穴部に、カッター
取外し棒を差し込んで、反時計方向
に回し、ホルダーナットをゆるめて
ください

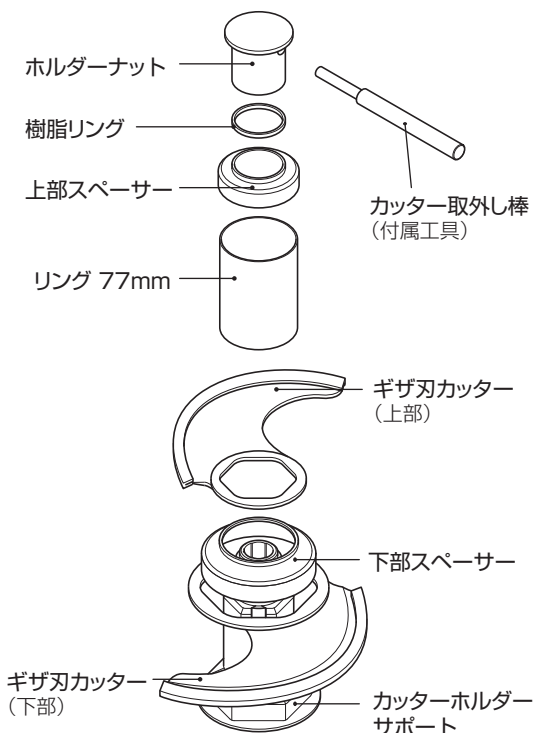
お願い

ギザ刃カッター Assy は使用后、必ず
分解して洗浄してください。

洗浄を怠ったり、長期間放置した場
合は、ホルダーナットが固着してゆる
まなくなることがあります。

8. ホルダーナットを手で回して取り外
してください


9. カッターホルダーサポートより、樹
脂リング、上部スペーサー、リング、
ギザ刃カッター（上部）、下部スペー
サー、ギザ刃カッター（下部）を取
り外してください



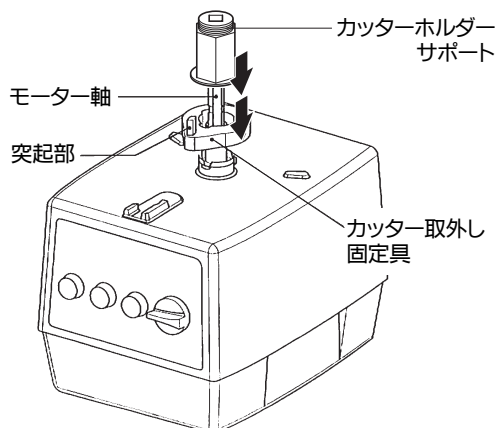
ギザ刃カッター Assy の組立て方法

1. モーター軸にカッター取外し固定具を取り付けてください
2. ギザ刃カッターの刃先にカッターカバーを取り付けてください

⚠ 警告



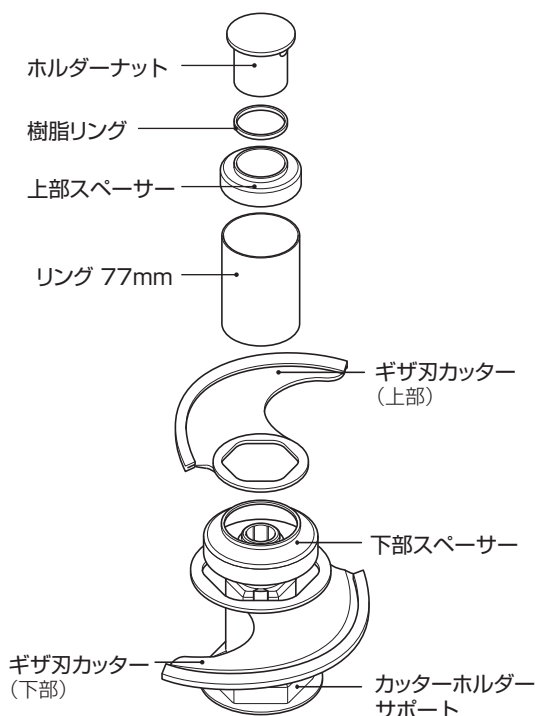
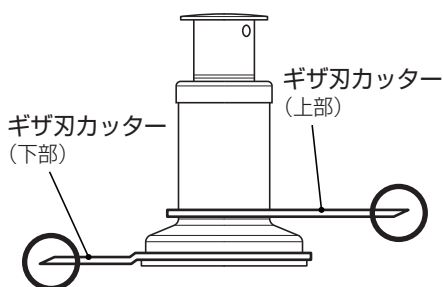
ギザ刃カッター Assyの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



3. モーター軸にカッターホルダーサポートを差し込んでください
4. カッターホルダーサポートにギザ刃カッター（下部）、下部スペーサー、ギザ刃カッター（上部）、リング、上部スペーサー、樹脂リング、ホルダーナットの順で取り付けてください

お願い

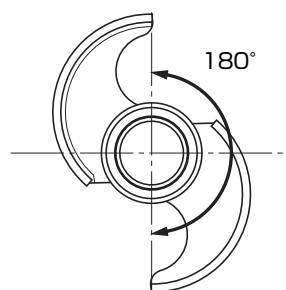
各ギザ刃カッターは、裏表を間違わないように取り付けてください。



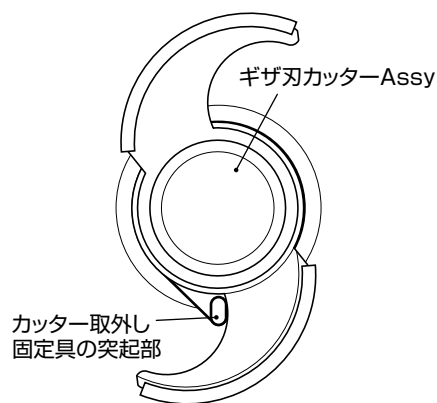
お願い

ギザ刃カッターは、必ずバランスがとれるように等角度に取り付けてください。

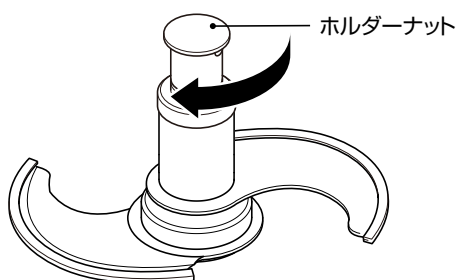
ギザ刃カッターを等角度に取り付けないと、機械の故障の原因になります。



5. 下部のギザ刃カッターの背部分が、
カッター取外し固定具の突起部に当
たるように向きを変えてください



6. ホルダーナットをしっかり締め付けてください

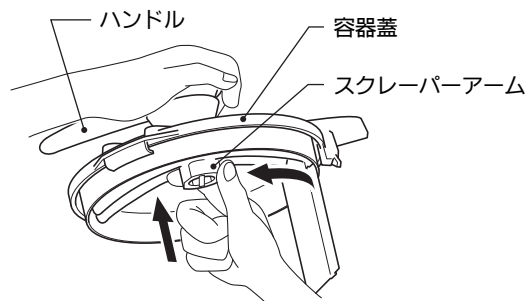


容器蓋、スクレーパーアーム Assy の分解と組立て方法

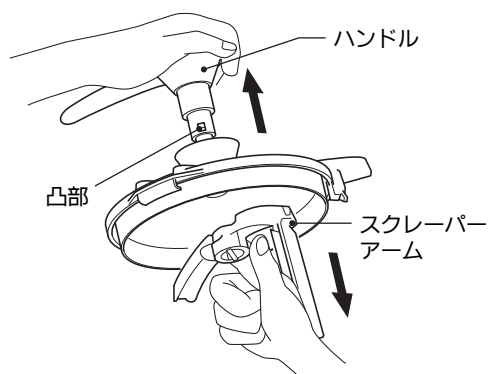
容器蓋、スクレーパーアーム Assy の分解方法

1. スクレーパーアームのロックを外してください

左手で容器蓋に取り付けられているハンドルをしっかり持ち、右手で容器蓋内側のスクレーパーアームの中央を持って上方向に強く押しながら、反時計方向に45°回すと、ロックが外れます。



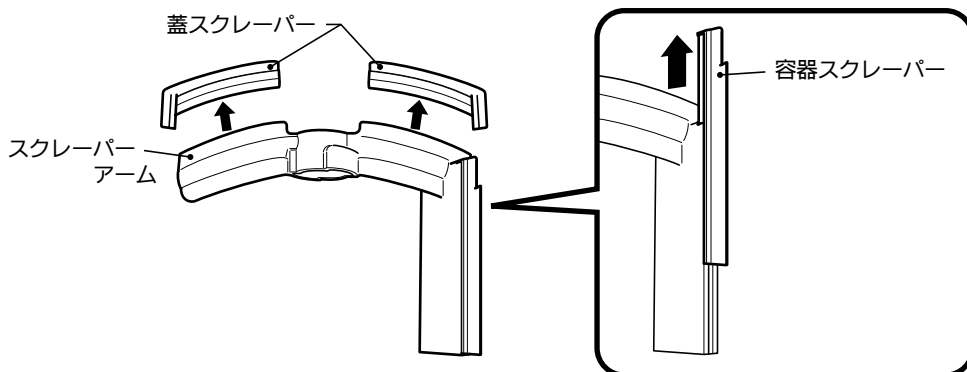
2. 容器蓋からハンドルと、スクレーパーアームを取り外してください



3. スクレーパーアームから、蓋スクレーパー、容器スクレーパーを取り外してください

蓋スクレーパーは、引っ張って取り外してください。

容器スクレーパーは、スライドさせて取り外してください。



4. 容器蓋から蓋パッキンを取り外してください

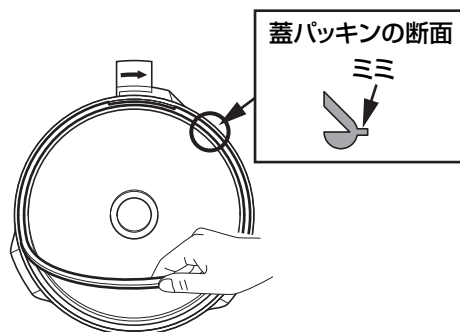
蓋パッキンのミミの部分をつまんで持ちあげて、取り外してください。

お願い

蓋パッキンを取り外す際は、パッキンに傷をつけないでください。

蓋パッキンのミミの切り欠き部は、引っ張らないでください。

蓋パッキンに傷がつくと、調理中に容器と容器蓋の間から食材がもれる原因になります。



容器蓋、スクレーパーアーム Assy の組立て方法

1. 容器蓋に蓋パッキンを取り付けてください

容器蓋の内側を手前に向けて、リブを上方にくるようにしてください。

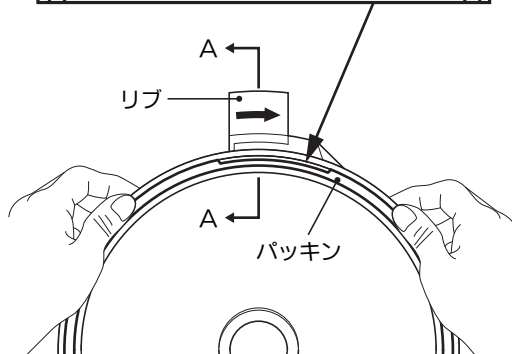
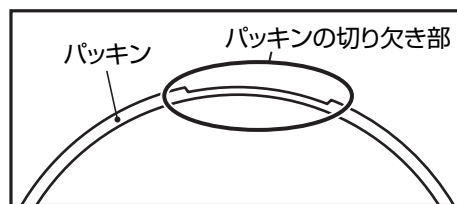
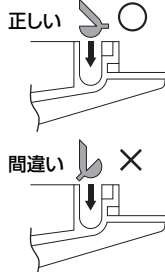
蓋パッキンは、丸みのある方を下に向け、パッキンの切り欠き部を容器蓋のリブに合わせてください。

お願い

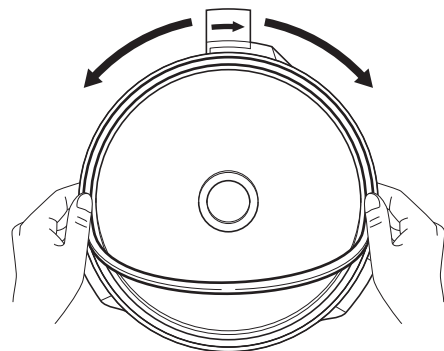
蓋パッキンをはめ込む際、向き（裏表）を間違わないでください。

蓋パッキンの向き（裏表）を間違えると容器蓋が正しく閉まりません。

A-A断面図

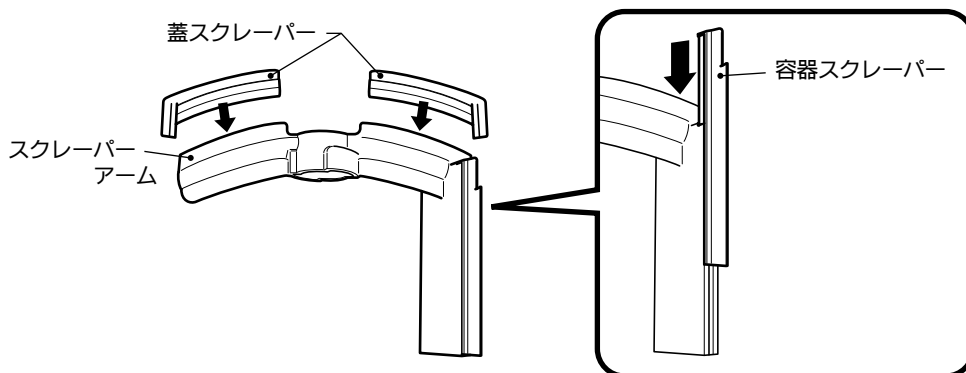


蓋パッキンを親指の腹で押さえながら、容器蓋の円周に沿って、蓋パッキン全体を溝にしっかりとはめ込んでください。



2. スクレーパーアームに、蓋スクレーパー、容器スクレーパーを取り付けてください

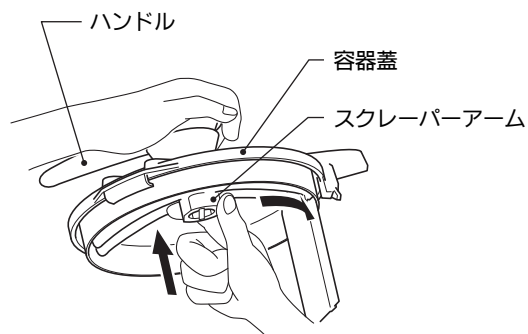
蓋スクレーパーは、スクレーパーアームの溝に向きを間違わないように取り付けてください。
容器スクレーパーは、上からスライドさせて取り付けてください。



3. 容器蓋にスクレーパーアーム Assy を元通り取り付けてください

ハンドルの軸を容器蓋の外側から差し込み、スクレーパーアームを中央の穴の形状とハンドルの軸先端の形状が合うように、はめ込んでください。

スクレーパーアームを上方向に強く押しながら、時計方向に 45° 回し、ロックしてください。



⚠ 警告



容器蓋に、スクレーパーアーム Assy を取り付け後は、スクレーパーアーム Assy が外れないことを確認すること
スクレーパーアーム Assy の取り付けが不十分な場合、調理中にスクレーパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」おこなってください

初めて機械を使用する場合。

調理後、速やかに。

繰り返し使用する場合、30 分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れや点検のときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF(切)』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、ケガの原因になります。

漏電、ショート、感電の原因にもなります。

お願い

容器蓋、蓋パッキン、ギザ刃カッター Assy の樹脂リング、スクレーパーアーム、ハンドル、容器スクレーパー、蓋スクレーパーは、食器洗浄機などは使用せずに 80℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形や、変色の原因になります。

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、充分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

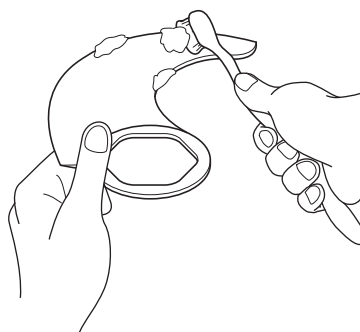
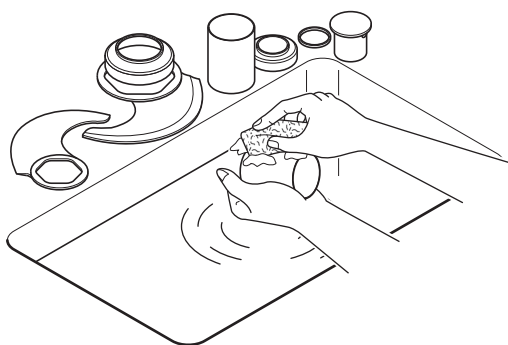
除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

1. 本機専用電源を必ず切ってください
2. 本体より容器蓋、容器を取り外し、容器からギザ刃カッター Assy を取り出してください
3. 水または温水を流しながら、容器内部、容器蓋、ハンドル、スクレーパーアーム、蓋パッキン、ギザ刃カッター Assy をすすぎ洗いして、付着した食材を洗い流してください
4. 容器蓋から、スクレーパーアーム Assy、蓋パッキンを取り外してください
「容器蓋、スクレーパーアーム Assy の分解方法」(20 ページ) を参照してください。
5. ギザ刃カッター Assy を分解してください
「ギザ刃カッター Assy の分解方法」(16 ページ) を参照してください。
6. コンテナやシンクにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗浄剤を入れて溶かしてください
7. 容器、容器蓋、ハンドル、スクレーパーアーム、蓋パッキンは、除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジを用いてきれいに洗ってください
※ 硬いタワシなどでこすると、傷が付きますので布かスポンジで洗ってください。
8. 分解したギザ刃カッター Assy の各部品は、お手持ちのブラシなどを使用してきれいに洗浄してください



⚠ 警告



ギザ刃カッター Assyの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

誤ってギザ刃カッター Assyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

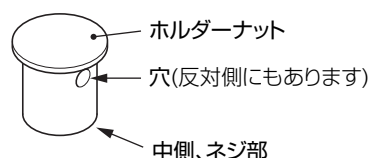
⚠ 注意



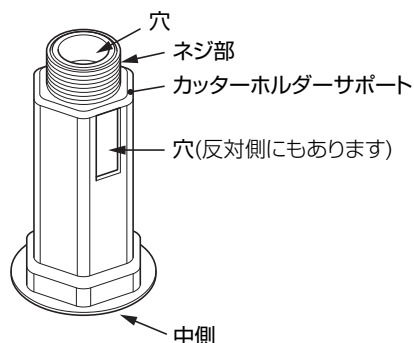
お手入れのときは、ギザ刃カッターを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにしておかないこと

泡でギザ刃カッター Assy の刃が見えなくなり、誤ってギザ刃カッター Assy の刃に触れると、ケガの原因になります。

ホルダーナットのネジ部分や穴（2箇所）、ホルダーナットの中側に付着した食材は、残らないように手持ちのブラシなどを使って、きれいに洗浄してください。



カッターホルダーサポートのネジ部分や各穴、カッターホルダーサポートの中側に付着した食材は、残らないように手持ちのブラシなどを使って、きれいに洗浄してください。



⚠ 注意



ギザ刃カッター Assy、容器、容器蓋、スクレーパーアーム Assy、蓋パッキン、モーター軸部などは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

お願い

ギザ刃カッター Assyの各部品および容器の洗浄は速やかにおこない、洗浄液や水、お湯に漬け置きしないでください。

漬け置きをしますと、金属部分が錆びる恐れがあります。

9. 洗浄した各部品をきれいな水または温水で、洗剤成分が残らないように、充分すすぎ洗いをしてください
10. 各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、充分空気乾燥させてください
11. 容器蓋に蓋パッキン、スクレーパーアーム Assy を元通り取り付けてください
「容器蓋、スクレーパーアーム Assy の組立て方法」（22 ページ）を参照してください。
12. ギザ刃カッター Assy を元通り組立ててください
「ギザ刃カッター Assy の組立て方法」（19 ページ）を参照してください。
13. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

お願い



容器蓋にひびなどがないか確認してください。

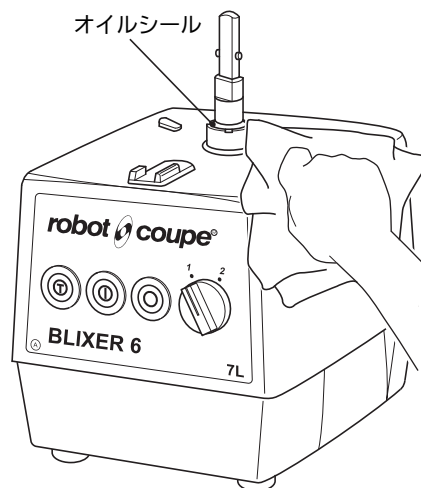
ひびなどがある場合は、新しいものに交換してください。

容器蓋を購入される場合は、納入代理店か、弊社にご注文ください。

14. モーター軸部および本体外装部は、除菌洗剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、汚れをきれいに拭き取ってください

⚠ 警告

-  本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。
-  モーター軸部に、付いているオイルシールは、傷を付けないこと
オイルシールを損傷しますと、容器から調理液や洗浄液が漏れた場合、モーター軸内へ流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。



15. 飲料用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取ってください
16. 空気乾燥させてください
17. 本体にアルコール除菌剤をスプレーして除菌してください

お願い

洗浄後、ギザ刃カッター Assy および容器は、速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。
水分がついたまま放置しますと錆びる可能性があります。

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

本機を使わないときは、乾燥した場所に保管してください。

機械を収納する場合は、充分乾燥させ、容器蓋をゆるめておいてください。

蓋を締め付けて、蓋安全スイッチ棒を押した状態で収納しますと、安全スイッチの故障の原因になります。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	症状 / 確認	手 当
連続調理スイッチ「○」（緑色）またはパルススイッチ「◎」（黒色）を押しても動作しない。	本機専用電源が「OFF(切)」になっていませんか？	本機専用電源を「ON(入)」にしてください。
	容器は、正しくセットされていますか？	容器を正しくセットしてください。
	容器蓋は、正しくセットされていますか？	容器蓋を正しくセットしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	粘度の高い食材を調理していますか？	停止スイッチを押して、機械を止め本機専用電源を「OFF(切)」にして、時間を置いてから再度本機専用電源を「ON(入)」にしてください。
	食材の量が、多すぎではありませんか？	
調理中に本機が止まった。	本機が、異常に熱くなっていますか？	<p>本機には、モーター保護装置が付いており、モーターが過熱した場合、自動的に機械が止まります。モーター保護装置はたらいて止まったときは、停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、本機専用電源も「OFF(切)」にしてください。モーターへの過負荷の原因を取り除いてください。</p> <p>容器内の食材の量を少なくしてください。</p> <p>容器内に異物が混入していれば、それを取り除いてください。</p> <p>モーターを 30 分以上休ませて冷ましてください。</p> <p>モーターが作動できる温度まで冷めると、モーター保護装置が自動的に復帰します。</p> <p>本機専用電源を「ON(入)」にし、連続運転スイッチ「○」（緑色）を押して、正常に動作すればモーター保護装置は復帰しています。復帰を確認後、改めて調理を始めてください。</p>

状 態	症状 / 確認	手 当
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	丈夫な場所に設置してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	食材の量が多すぎではありませんか？	停止スイッチを押して、機械を止め本機専用電源を「OFF(切)」にして、食材の量を減らしてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

× 毛

[illegible]

[illegible]

仕様

品 名	ブリクサー【ロボクーブ】	
型 式	BLIXER-6	
外 形 寸 法	幅 280・奥行 320・高さ 535mm (突起物を含む 奥行 360mm)	
電 源	三相 200V 50 / 60Hz	
電 流	6.5 A	
消 費 電 力	2.0 kW	
安 全 装 置	蓋安全装置（ブレーキ装置付）、モーター保護装置	
回 転 数	低速：1,500r.p.m.・高速：3,000r.p.m. (50Hz) 【無負荷時】 低速：1,800r.p.m.・高速：3,600r.p.m. (60Hz) 【無負荷時】	
材 質	本 体	アルミニウム（上部）、プラスチック（下部）
	容 器	ステンレス SUS304（内径φ 230・深さ 180mm）
	容 器 蓋	ポリカーボネイト（スクレーパーアーム Assy、蓋パッキン付）
	ギザ刃カッター Assy	ステンレス、POM
容 器 容 量		7.0 L
液体物処理量		4.0 L（低速回転時）
質 量		23.0kg（本体：18.6kg＋容器・ギザ刃カッター Assy 4.4kg）
電 源 コード		長さ：2.5 m 4 心

お願い

本機では、80℃を超える熱い食材や、調理中に 80℃を超える食材は調理しないでください。
樹脂部品が変形したり、変色したりする原因になります。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

主 要 部 品	ギザ刃カッター Assy(φ 225・高さ 158mm、ギザ刃カッター) … 1 セット
付 属 品	カッター取外し棒 …………… 1 個 カッター取外し固定具 …………… 1 個

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「**無料修理**」いたします。
- 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品（ギザ刃カッター、オイルシール、容器蓋、容器スクレーパー、蓋スクレーパー、パッキン類、カッターカバー、カッター取外し棒、カッター取外し固定具）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただきます。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		ブリクサー【ロボクープ】		
型 式		BLIXER-6	製造番号	
お 客 様	ご 芳 名	様		
	ご 住 所	〒 TEL. ()		
お 買 上 げ 店	店名・住所			
お買上げ日	年	月	日	無料修理保証期間 お買上げ日より1年間

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

PC